

芳賀町 さわやか敏太訓

びんた

子育て指針

芳賀町教育委員会 平成19年4月1日制定



「子に過ぎたる宝なし」(基本理念)
子どもは、将来大人になって社会の未来永劫の繁栄や安寧に貢献する大切な人材であることは論をまたない。

子どもは、さまざまな人々との関わりを持ちつつ日々成長を重ねて、個人としての尊厳を保ちながら、すこやかによく遊び、よく学び、愛情や友愛を育くむ環境の下で生活することを不可欠としている。換言すれば、「知」「徳」「体」の均整のとれた人格の陶冶が重要であり、そのためには大人が子どもの成長と人格形成に主体的に関わって、愛情や寛容や奨励をもって取り組むことが一層重要である。子どもは生来好奇心旺盛で創造性を発揮しながら、可能性に果敢に取り組み、自己実現を目指して自立を果たす資質を備えている。

芳賀町教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、家庭、学校、地域と共に協力、協働しながら、子どもの成長がより健全で、幸福で、充実したものとなるようまちづくりを目指し、ここにこの指針を制定する。

人間社会には古来より不易の恭敬すべき哲理や教訓が存在している。この指針は、先人や賢人の経験や思想から生まれた珠玉の諺や教訓を条項に掲げて、その精神の神髄をしみじみと味わい、子育て支援の確固とした拠り所とするものである。

子育ては大人の大切な責務であるという視点に立ち、また、人間

ために、読書活動を重視し、密接な協力関係を図り、読書の奨励に努めるものとする。

第4章 子どもの人格や社会性涵養の支援

第5条 「ならぬことはならぬものである」(規範意識の喚起)

教育委員会と学校は、子どもの社会性や豊かな人間性の涵養のために、望ましい社会性や規範意識向上の教育活動を推進するものとする。

2 「情けは人の為ならず」(友愛、敬愛の心情の醸成)

教育委員会と学校は、子どもの学校生活や遊びを通して、他者に対する友愛や敬愛の大切さを体得できる環境づくりに努めるものとする。

3 「仁、義、礼、智、信」(儒教の五常の醸成と実践)

教育委員会と学校は、子どもに守るべき道徳の基本として、五常の大切さを教示したり体得させることに努めるものとする。

第5章 子どもの基本的生活習慣の確立や健康増進、体力向上の支援

第6条 「早ね早おき朝ごはん」(基本的生活習慣の確立と健康増進)

教育委員会と学校は、家庭と密接な共通理解の下に、生活習慣のリズムや食育、給食の重要性を認識し、基本的生活習慣の確立と望ましい食生活の確立を推進して、子どもの健康増進に資するものとする。

2 「子どもは風の子」(体力向上および感性と逞しさの醸成)

教育委員会と学校は、子ども本

力向上の修養期として様々な影響を受けやすい小・中学校学齢期の子どもに焦点を絞り、時代を超えて希求されるべき、人格の尊厳、規範、健康、体力、学び、遊び、社会性、夢、希望、努力、試練、達成、幸福、愛情、きずな等を包括的かつ有機的に体得させる教育活動を創生したり推進することを目標に定め、この指針を構成する。この指針において、敏太は次のように定義する。

- (1) 「敏」は「さとい」を象徴する。
- (2) 「太」は「非常に尊い」を象徴する。
- (3) 「びんた」と発音する。

第1章 親(または保護者)の努めと芳賀町および教育委員会や学校の取り組み

第1条 「這えば立て、立てば歩めの親心」(親の子育て義務)

親(または保護者)は、子どもの健やかで豊かな人間性を備えた成長のために、前文の基本理念を尊び、親(または保護者)としての責任を発揮し愛情を注いで、主体的な子育てに関わることが求められる。

2 「子はかすがい」(子どもの尊厳、親(または保護者)は子どもの尊厳を深く認識して、家族としてのきずなや信頼と平和を築き、子育てにふさわしい安らぎと居がいのある家庭を築くことが求められる。)

3 「後生畏るべし」(町および教育委員会と学校の取り組み)

町および教育委員会と芳賀町立各学校(以下「学校」という。)は、子どものもつ才能や個性と可能性の伸長が、将来の社会を担う原動

力になることを深く認識して、その資質を伸ばす教育施策や活動を家庭および地域社会と協力して積極的に取り組まなければならない。

第2章 親(または保護者)の子育て肝腎

第2条 「父教えざれば子愚なり」(父性の発現)

親(または保護者)は、子育ての重要な柱のひとつに、父性の発現のもつ役割や価値を深く認識して、子どもの成長に寄与することが求められる。

第3条 「お袋の味」(母性の発現)

親(または保護者)は子育ての重要な柱のひとつに、母性の発現のもつ役割や価値を深く認識して、子どもの成長に寄与することが求められる。

第3章 子どもの知力成長の支援

第4条 「鉄は熱いうちに打て」(子どもの資質の伸長)

教育委員会と学校は、子どもの学業、スポーツ、芸術等における優れた才能や個性と豊かな人間性を育成する施策や活動を、密接な連携の下に、積極的に推進するものとする。

2 「教えありて類なし」(教育活動の向上)

教育委員会と学校は、学校の教育活動の重要性ともたらす成果の重大性を深く認識し、一致協力して指導効果がより向上するよう努めるものとする。

3 「書を読めば万倍の利あり」(読書の奨励)

教育委員会と学校は、子どもの豊かな人間性を育む教養の涵養の

第7章 大人の子育て指標

第8条 「孟母三遷」(子育ての姿勢と教育の成果の重要性)

大人は、子育ての姿勢や教育の成果が子どもの成長に絶対的な影響を及ぼし、重大な結果を誘因すること十分に認識して、子どもの健やかな成長に対する貢献と幸せな人生の招引に寄与するために、不断の努力や実践を積み重ねなければならない。

2 「子育て金言十箇条」(大人自身に対する教訓)

- (1) 家庭よ、汝は道徳上の学校なり(ベスタロッチ)
- (2) 小児を教うるには、先ず安詳恭敬を要す(小学) ※安…もの静かで落ち着きがあること。 ※詳…物事をゆるがせにせず、こまかに注意すること。 ※恭…おごそかで、礼儀正しいこと。 ※敬…心に慎みをもつこと。
- (3) 寛にして栗(舜典 ※栗…きびしき)
- (4) 可愛い子は頭を張れ
- (5) 親の甘茶が毒となる
- (6) 貧しくて楽しむ(論語)
- (7) 是非の心は知の端なり(孟子)
- (8) 才あらば適せざるなし(唐詩選)
- (9) 人生は動に在り(宋史)
- (10) 子どもを不幸にするいちばん確実な方法は、いつも、なんでも手に入れられるようにしてやることである(ルソー)

● 学校教育課学校教育係

028(67)6024

さんさん 芳賀町 明るい子 キャンペーン

冷酷非情に拡大する国際化や近隣諸国の目覚ましい発展を目の当たりにして、我が国の子々孫々にわたる繁栄と安寧を思うとき、今ほど責任と愛情のこもった「人づくり」に全力を傾注すべき時代は無いと申せましょう。

町民の皆さまには深いご理解とご支援をいただき、真に実り豊かな子育てや教育活動がみなぎることを期待する次第であります。

芳賀町教育長 堀江 肇